

原始・古代のたからづか

縄文時代 市内では縄文時代の遺跡はまだ発見されていませんが、仁川高丸と北部の香合新田から有茎尖頭器(投げ槍の先端部に着けて使用した石器)が見つっています。

弥生時代 定住してムラをつくり暮らすようになり、弥生土器や青銅を用いた銅鐸などの祭祀用具が作られるようになりました。市内では、弥生土器が多く出土した仁川高台遺跡(仁川高台1丁目)や、中山荘園で出土した祭りの道具の四区画袈裟禪文銅鐸が見つっています。

古墳時代 大和(現在の奈良県)を中心に勢力をもった豪族が前方後円墳を中心とした巨大な古墳(土を盛り上げた墳丘をもつお墓)を築き、全国に広がりました。市内では200基を超える古墳が発見されており、赤烏七年神獸鏡が出土した市史跡の安倉高塚古墳や、八角形をした全国的にも珍しい国指定史跡の中山荘園古墳などが有名です。

奈良・平安時代 仏教が日本に広まり各地で寺院が建立されました。市内では全国でも有名な中山寺や清荒神清澄寺がこの時代の創建とされています。平安時代に編纂され、朝廷の儀式などを記した『延喜式神名帳(えんぎしきじんみょうちょう)』には、売布神社や伊和志津神社の名前が載っています。



仁川高丸の有茎尖頭器(左) 香合新田の有茎尖頭器(右) 中山荘園出土の四区画袈裟禪文銅鐸(左) 安倉高塚古墳出土の赤烏七年神獸鏡(右) 中山荘園古墳(国指定史跡)



売布神社 伊和志津神社

中世のたからづか

鎌倉時代から室町時代

市場の発展から貨幣の流通が高まりました。市内では堂坂遺跡より室町時代中期に埋められたとされる古丹波の壺7つが見つかり、中には約19万枚もの古銭が収められていました。

仏教文化の影響を受けた石造美術品も多く残されており、波豆八幡神社にある嘉暦3年銘の板碑(いたび)は、高さ4mの巨大なもので、県指定重要文化財です。また、中筋の八王子神社にある板碑は市内最古のものとされており、市指定文化財です。

この頃から毫撰寺の寺内町として小浜が発展を遂げました。寺内町とは、浄土真宗の寺を中心とした自治都市で、堀などで囲む城塞的な地形が特徴です。交通の要衝にあり、商業が盛んに行われました。



堂坂遺跡出土の壺



毫撰寺(小浜)



波豆八幡神社の板碑(左) 八王子神社の板碑(右)

たからづかの歴史

原始・古代

旧石器時代

縄文時代

弥生時代

古墳時代

飛鳥時代

奈良時代

平安時代

中・近世

鎌倉時代

南北朝時代

室町時代

戦国時代

安土桃山時代

江戸時代

近・現代

明治時代

大正時代

昭和時代

平成時代

令和時代

中・近世のたからづか

戦国・安土桃山時代

山本地域の植木産業が本格的な発展を遂げ、豊臣秀吉の家来であった坂上頼泰は丈夫な台木に良質な花木を接ぐ「接ぎ木」の技法を発明し「木接太夫」の称号を与えられました。阪急山本駅西側にある「木接太夫彰徳碑」は植木のまち宝塚のシンボルとなっています。



木接太夫彰徳碑



歴史民俗資料館 旧和田家住宅

江戸時代

小浜地域が大阪や京都と有馬、西宮などの街道を結ぶ交通の要衝であることから、旅籠や木賃宿、馬借などが並ぶ宿場町として栄えていきました。この時代は小浜が宝塚の中心地でした。現在の小浜には、当時の面影が残されており、地域の歴史を伝える小浜宿資料館や、江戸時代中頃に築かれたとされる旧和田家住宅があります。



市立小浜宿資料館

近・現代のたからづか

明治時代

阪鶴鉄道(現在のJR福知山線)が開業したことに伴い、宝塚温泉の入湯客が格段に増えました。宝塚温泉の最初の温泉場は、現在の若水の位置にあり、宝塚温泉の碑が建っています。その後も箕面有馬電気軌道(現在の阪急宝塚線)が開通したことで、住宅地、リゾート地として急速に発展を遂げ、宝塚の中心地が小浜から武庫川周辺に移り変わっていきました。



宝塚新温泉と大劇場

大正時代

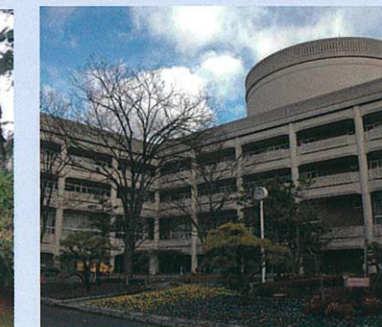
「宝塚少女歌劇」(現:宝塚歌劇団)が上演され、武庫川周辺は歌劇と温泉のまちとして、より一層発展します。雲雀丘・花屋敷地域周辺では、環境の良い郊外への移住が目されたことにより宅地開発され、西洋建築の洋館や和洋折衷の住宅が建ち並びました。市内には大正期にいち早く開かれた住宅地に建てられた近代和風住宅の旧山田家住宅(宝塚南口)や、昭和初期に建築されたモダンな西洋スタイルの旧松本邸(桜ガ丘)が国登録有形文化財として残されています。

昭和時代

第二次世界大戦中に川西航空機(現在の新明和工業)の新工場が操業を開始し、軍用機が生産されましたが、米軍による本土空襲により、川西航空機工場は壊滅的な被害を受けました。戦後、昭和29年4月1日に宝塚市が誕生し、住宅都市として発展を遂げ、高度経済成長期以降人口が20万人を突破しました。昭和55年には建築家の村野藤吾が設計した現在の市庁舎が完成しました。令和6年で市制70周年を迎えます。



国登録有形文化財 旧山田家住宅(左) 国登録有形文化財 旧松本邸(右)



市庁舎(村野藤吾設計)